

# 巻 頭 言



常務取締役  
千葉製鉄所長 近藤 徹

千葉製鉄所は日本における戦後初の臨海大型一貫製鉄所をめざして1951年に開所し、1953年の第1高炉の火入れより、大型化、高速化、連続化、自動化をコンセプトとして建設を進め、1958年に当時としては世界最新鋭のホットストリップミル、およびコールドテンデムミルを完成させた。以来、今日まで、鉄のパイオニアとして日本鉄鋼業の驚異的発

的に進め、『板の川鉄』としての名声の礎を築いてきた。

この一冊は、第1世代の建設完了後、引き続き製鉄部門で第6高炉のベルンス装入やGO-STOP

